



はじめまして！福山市立大学で広報を担当している大久保です。今回は、母校の高校生を大学に呼び込んだ魅力的な学生を紹介します。

新年度が明けて間もない4月19日、広島市にある進徳女子高校の3年生86名と引率の先生方が本学を訪れ、教育学部・野口啓示教授の「児童虐待」がテーマの特別講義、大庭三枝准教授の「子どもと平和」をテーマとした特別講義を受講しました。

実は今回、大学と高校のつなぎ手となってくれた仕掛け人がいます。進徳女子高校を卒業し、本学教育学部保育コースに所属する、3年生の寺田朱里（てらだあかり）さんです。



彼女は高校に赴いた際、恩師・長谷川先生に、大学の授業やさまざまな活動について報告していました。長谷川先生は「今の生徒たちにも、寺田さんが受けている魅力ある授業を受けさせたい」と思われ、寺田さんに相談したことがきっかけで今回の訪問が実現しました。

「高校生（後輩）の大学訪問を計画したその原動力は何ですか？」と聞くと、彼女は「私は中学時代に不登校を経験し勉強が遅れたというコンプレックスから自信が持てずにいました。長谷川先生から福山市立大学を勧められ、最初は『ムリムリ！』と思いましたが、自分を変えたくて。晴れて合格して大学生になり、学校に行けなかった私が今、大学生活を謳歌している…。人生、何が起るか分からないなと思いました。だから私と同じように自信を持てずにいる後輩たちに、私が体験したことや、挑戦したらなんとかなるよ」と、熱く語ってくれました。

課外の活動にも積極的に参加してきた寺田さん。悩んだり、時に立ち止まったりしながら、保育コースやサークルで出会ったかけがえのない仲間たちと一緒に、今日も元気にキャンパスを駆け回っています。

●連携担当の活動レポート

どうも、連携担当のカクです。今回は「つれのうてNIGHTのはじめかた講座」についてレポートします。つれのうてNIGHTとは、福山市まちづくりサポートセンター（以下「まちサポ」）が取り組む対話イベントで、私たち連携担当も以前から興味がありました。このイベントはざっくり言うと、参加者同士での対話を通じ、新しい視点や価値観に触れ、それらを受け入れる機会となります。

春の某日、まちサポで開催された「はじめかた講座」に、本学から教員1名と職員4名が参加。講座のあと、実際にミニ・つれのうてNIGHTを体験してきました！

対話では「飲み会の誘い方がわからなくなっちゃった」という私の小さな悩みもピックアップされ、初めて出会った方々からさまざまなアイデアをいただきました。（対話を盛り立てた意見を引き出したりするまちサポの

イベント。何かとすぐ答えを求めがちな時代ですが、まずは考えてみることを大切に身に沁みて感じました。まちサポさん、良い機会をありがとうございました。本学でもFCU版つれのうてNIGHT（？）がいつか開催できると、取り組みたいと思います！



方々のコーディネート力がすごかった！



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。



研究シーズ集

【問い合わせ先】

福山市立大学 事務局総務課 連携担当

☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp